

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
52204	子どもの保健 Child health	中島 志保		専門	2	選択	1年前期

科目の概要

本科目は、子どもの心身の健康の保持・増進を図ることを目的とし、健康と安全の面から保育の専門家として必要な保健的対応に関する基本的知識を身に付ける。子どもの身体的な発育・発達と保健を理解し、心身の健康状態とその把握について学ぶ。また子どもに見られる主な疾病（感染症・アレルギー疾患・その他の病気）の特徴を理解し、保育所における予防と対応、他職種間との連携について学ぶ。小児保健統計や子どもを取り巻く環境と地域における保健活動を知り、保育者として家庭・地域・専門機関との連携について理解する。そして保育者として自らの健康管理の必要性に気付き、行動する意識がもてるようにする。

学修内容	到達目標
<p>子どもの定義と子どもの健康の考え方を理解する。小児保健統計や子どもを取り巻く環境と地域における母子保健活動を知り、子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義と、家庭・地域・専門機関との連携について理解する。</p> <p>乳幼児期における身体発育と生理・運動機能の発達、その評価を理解する。</p> <p>子どもの健康状態の観察とその把握、心身の不調などの早期発見と対応、保護者との情報共有の内容について理解する。</p> <p>子どもに見られる疾病（感染症・アレルギー疾患・その他の病気）の特徴、保育所における予防と対応、他職種間との連携について理解する。</p>	<p>「子どもの定義」と「子どもの健康の考え方」について述べるができる。地域における母子保健サービスを挙げ、家庭・地域・専門機関との連携について述べるができる。</p> <p>発育・発達原則、月年齢における発育・発達とその評価について述べるができる。</p> <p>子どもの健康状態の観察項目、心身の不調などの早期発見とその対応について述べるができる。保護者との情報共有の必要性について述べるができる。</p> <p>子どもに見られる疾病（感染症・アレルギー疾患・その他の病気）の特徴、保育所における予防と適切な対応、他職種間との連携の必要性について述べるができる。保育者自身の感染症予防の必要性とその行動について述べるができる。</p>

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	ア．毎週予習を行い、授業内容を把握し授業に臨むことができる。 イ．授業以外の時間を使い、課題に必要な知識について、テキストや文献を使って自己学修することができる。
	働きかけ力	
	実行力	ア．課題は必ず実践し、提出日を守る。 イ．自ら健康について意識し、行動に移せる。
考え抜く力	課題発見力	ア．苦手な部分を明らかにし、自分の課題を見つけ学修に取り組むことができる。 イ．自分自身の健康に関心を持ち、日常生活上の問題点や課題を見つけ改善策を考えることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなく、様々な方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確な文章で表現できる。
	傾聴力	意見を聴く時は、うなずきやあいづちをし、途中で遮ることなく最後まで聴く。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	ア．授業開始時には着席し授業を受ける準備を整えることができる。 イ．無断欠席、遅刻、居眠り、私語、飲食、途中退室など講義や他の学生に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。（体調不良時は申し出ること） ウ．授業終了時は、机上の消しゴムなどのゴミを片付け、整理整頓してから終えることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「これだけはおさえたい！保育者のための子どもの保健」 鈴木美枝子 [編著] 創成社 ¥2,200 + 税
参考文献：「保育所保育指針」「保育所における感染症対策ガイドライン」「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：子どもの健康と安全、子どもの食と栄養、保育内容（健康）、保育の心理学
資格との関連：保育士

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の発育・発達や予防接種について、自身の母子健康手帳を見たり、家族で子どもの頃の話をする事で、理解を深めるとよい。 ・学習範囲が広く専門用語も多いため、テキスト・資料にて毎週予習・復習をしてください。 ・日頃から母子保健について関心を持ち、新聞やニュースなどから情報収集を心掛けるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・座席は指定です。 ・授業開始時間には着席し、授業に臨んでください。 ・携帯電話は電源を切り、カバンにしまっておくこと。 ・課題は授業開始前に必ず提出し、着席してください。 ・授業で配布する資料は予備がないため、紛失などした場合は他の学生からコピーさせてもらってください。欠席した場合、次の授業時に各自で取りにくること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験	60	①	✓	到達目標 に対応した、基礎的な知識を問う問題を出題し評価する。 1. ワークシート・課題レポート 2. シラバスの復習に記されている内容	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤			
	平常評価	小テスト		15	①		授業内容を理解できているか確認する。 穴埋め問題と簡単な記述問題を出題する。 1. 子どもの区分、身体発育、運動機能の発達 2. 子どもの健康状態の観察項目 3. 乳幼児期における体温、脈拍、呼吸の特徴 4. 学校感染症と出席停止期間 5. 子どもがかかりやすい感染症 小テストの点数を平均して判定する。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤		
		レポート		15	①	✓	課題はワークシート(授業の復習用の学習問題)・レポートを授業にて配布する。 ・保育者としての基本的知識について理解できている。 ・「自分の住む地域における母子保健サービス」を調べまとめている。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤		
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)				①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
学修行動	社会人基礎力(学修態度)		10	①	✓	(規律性) 受講態度に遅刻、欠席、学修意欲欠如、他の学生の受講に支障をきたす行為が見られる場合は、1点×授業回数減点する。 (実行力) 課題未提出は、1課題1点減点する。 (主体性) 課題について、テキストや文献を使用し記述できている。 (課題発見力) 自分の苦手な部分を明確にし、学修や課題に取り組むことができる。 (創造力) (発信力) 固定概念に捉われないこと、様々な方向から考えまとめている。 (傾聴力) うなずきやあいづちなど話を聴く姿勢ができている。 (実行力) (課題発見力) 自分自身の健康に関心を持ち、日常生活上の問題点や課題を考え自己管理に取り組むことができる。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤			
総合評価 割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>・地域における母子保健対策を理解し、母子保健サービスとその内容を説明できる() 地域との連携について具体的に述べることができる()</p> <p>・乳幼児の発育・発達の評価ができる() 保護者への支援を具体的に挙げることができる()</p> <p>・子どもの健康観察のポイントを説明でき、心身の不調の特徴と対応を説明できる。保護者との情報共有の内容を挙げることができる。() 日々の健康観察と保護者との情報共有を関連付けて説明できる()</p> <p>・感染症発生の三大要因とその対策について、具体的に説明できる。感染症の特徴・登園停止期間・予防接種と感染症を関連させて説明できる() 保育所における感染症の予防と対応について具体的に説明できる()</p> <p>S(秀) + 、 A(優)</p>	<p>・地域における母子保健対策について、母子保健サービスを挙げることができる() 地域との連携の必要性を挙げることができる()</p> <p>・発育・発達の原則、月年齢に応じた身体発育が説明できる() 原則と発達の経過を結び付けることができる。発育・発達の評価を挙げることができる()</p> <p>・子どもの健康観察の項目を挙げることができる() 子どもに見られる心身の不調とその対応を挙げることができる()</p> <p>・感染症発生の三大要因と定期予防接種を挙げることができる。子どもがかかりやすい感染症を挙げることができる() 感染症と予防接種を関連させて挙げることができる。感染症の登園停止期間が説明できる()</p> <p>B(良) + 、 C(可)</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	子どもの健康と保健の意義 ・子どもの定義(在胎週数、出生体重、年齢による区分)を理解する。 ・保育における子どもの保健と子どもの健康を理解する。 ・小児保健統計から子どもの健康水準と子どもを取り巻く環境を知る。	講義	・「子どもの定義」を述べる ことができる。 ・「保育における子どもの健康」を述べる ことができる。	(予習)テキストP1~14を読む。 (復習)「子どもの定義」「保育における子どもの健康」についてまとめる。日常生活を振り返り、健康に向けての行動目標を挙げる。「体のつくり」ワークシートをまとめる。次回提出。自分の住む地域の母子保健サービスについて調べまとめる。10週授業までに提出。	180	主体性 課題発見力 規律性
2週 /	子どもの発育・発達と保健 ・発育、発達、成長の意味を理解する。スクヤモンの発育曲線から発育の特徴を学ぶ。 ・身体発育(身長、体重、胸囲、頭囲)について学ぶ。身体発育の評価を理解する。	講義 ・授業開始前に、1週の課題を提出	・発育、発達、成長の意味が説明できる。 ・月年齢に応じた身長、体重の発育が説明できる。	(予習)テキストP26~30、P56~65を読む。 (復習)発育、発達、成長の意味を覚える。「身体発育」ワークシートにてふり振り返る。	180	実行力 創造力
3週 /	子どもの発育・発達と保健 ・歯と骨の発育について理解する。 ・運動機能の発達の原則を理解し、乳幼児期の月年齢に応じた運動機能の発達経過を学ぶ。 ・発達の評価の意義と内容について理解する。	講義、DVD視聴 ・2週内容「(事例)身体発育と評価」のふり振り返り(フィードバック)	・歯の萌出時期が言える。 ・運動機能の発達の原則について説明できる。 ・乳児期の発達の順序が言える。	(予習)テキストP31~39、P65~67を読む。 (復習)「歯の発育、運動機能の発達」ワークシートにてふり振り返る。	180	主体性 創造力
4週 /	子どもの発育・発達と保健 ・生理機能(消化吸収、排泄、睡眠、免疫)の発達について理解する。 ・感覚器の発達について理解する。	講義 ・小テスト1 「1~3週の内容」 ・1週課題の返却「体のつくりとはたらき」ふり振り返り(フィードバック)	・乳幼児期の消化吸収、排泄、睡眠の特徴を述べる ことができる。 ・視覚の発達について述べる ことができる。	(予習)テキストP39~50を読む。 (復習)「生理機能、感覚器の発達」ワークシートにてふり振り返る、特徴を覚える。	180	主体性
5週 /	子どもの心と体の健康状態の把握 ・健康診断、日々の健康観察と保護者との情報共有について理解する。 ・子どもの健康状態の観察項目を理解する。	講義 ・小テスト1の返却、ふり振り返り	・保育所における健康診断を挙げることができる。 ・家庭との連携がわかる。 ・健康観察の項目が挙げることができる。	(予習)テキストP68~76、P158~161を読む。 (復習)健康診断、保護者との情報共有についてまとめふり返る。テキスト巻末ワークシート2-を記述し覚える。	180	主体性 傾聴力
6週 /	子どもの心と体の健康状態の把握 ・生理機能(体温、脈拍、呼吸)の特徴を理解する。 ・体調の良くない子どもへの対応を理解する。	講義、DVD視聴 ・小テスト2 「子どもの健康状態の観察項目」	・乳幼児期の体温・脈拍・呼吸の標準値を述べる ことができる。 ・子どもによく見られる心身の不調を挙げることができる。	(予習)テキストP39~42、P78~89を読む。 (復習)「乳幼児期における体温・脈拍・呼吸の特徴」「体調の良くない子どもへの対応」ワークシートにてふり返る。次回提出。	180	主体性 傾聴力
7週 /	子どもの病気の予防と適切な対応 ・感染症発生の三大要因とその対策を理解する。	講義 ・小テスト3 「乳幼児期における体温、脈拍、呼吸の特徴」 ・小テスト2返却、ふり振り返り	・感染症発生の三大要因とその対策を挙げることができる。	(予習)テキストP91~92、P111~115を読む。 (復習)保育所における感染症対策ガイドライン「三大要因とその対策」を読む。感染経路別にその対策をレポートにまとめる。次回提出。	180	主体性 発信力
8週 /	子どもの病気の予防と適切な対応 ・予防接種について理解する。 ・学校感染症と出席停止期間について理解する。	講義 ・授業開始前に、7週課題レポートを提出 ・小テスト3返却、ふり振り返り	・定期予防接種、任意予防接種を挙げることができる。 ・学校感染症の出席停止期間を述べる ことができる。	(予習)テキストP115~128を読む。 (復習)「予防接種」「学校感染症と出席停止期間」ワークシートにてふり振り返る。	180	実行力

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	子どもの病気の予防と適切な対応 ・子どもがかかりやすい感染症(麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、伝染性紅斑、手足口病、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、とびひ、水いぼ、アタマジラミなど)の特徴と保育所における対応を理解する。	講義、DVD視聴 ・小テスト4 「学校感染症と出席停止期間」	・子どもがかかりやすい感染症を挙げることができる。	(予習)テキストP92~111を読む。 (復習)ワークシートにて「感染症の特徴と保育所における予防と対応」ワークシートにてふり返り覚える。次回提出。	180	主体性 課題発見力
10週 /	子どもの病気の予防と適切な対応 ・子どもの病気(呼吸器、皮膚、消化器系)の特徴と対応について学ぶ。	講義、DVD視聴 ・授業開始前に、「自分の住む地域の母子保健サービス」レポート課題提出 ・小テスト5 「子どもがかかりやすい感染症」 ・小テスト4返却、ふり返り	・病気の特徴を挙げることができる。	(予習)テキストP146~150を読む。 (復習)「子どもの病気」ワークシートにてふり返る。次回提出。	180	主体性 実行力
11週 /	子どもの病気の予防と適切な対応 ・子どもの病気(血液、腎泌尿器、内分泌系など)の特徴と対応について学ぶ。	講義、DVD視聴 ・授業開始前に、10週課題提出 ・小テスト5返却、ふり返り	・病気の特徴を挙げることができる。	(予習)テキストP150~151を読む。 (復習)「子どもの病気」ワークシートにてふり返る。次回提出。	180	主体性 実行力
12週 /	子どもの病気の予防と適切な対応 ・子どもの病気(先天異常、循環器系、神経系)の特徴と対応について学ぶ。	講義、DVD視聴 ・授業開始前に、11週課題提出	・病気の特徴を挙げることができる。 ・病気を持つ子どもと保護者の心身の状態を述べることができる。	(予習)テキストP151~155を読む。 (復習)「子どもの病気」ワークシートにてふり返る。次回提出。	180	主体性 実行力
13週 /	子どもの病気の予防と適切な対応 ・アレルギー疾患(アトピー性皮膚炎、気管支喘息)の症状と対応について理解する。	講義 ・授業開始前に、12週課題提出	・気管支喘息、アトピー性皮膚炎の症状を挙げることができる。	(予習)テキストP129、P136~144、P145を読む。 (復習)保育所におけるアレルギー対応ガイドラインを読む。	180	課題発見力
14週 /	子どもの病気の予防と適切な対応 ・アレルギー疾患(食物アレルギー)とその対応について理解する。 ・アナフィラキシーとアナフィラキシーショック、保育所における対応について理解する。	講義、DVD視聴 演習 ・「エピペンの取り扱い方」 ・グループディスカッション「食物アレルギーをもつ子どもへの対応」	・食物アレルギーの症状を挙げることができる。 ・エピペンの接種部位が言える。	(予習)テキストP130~136を読む。 (復習)「アレルギー疾患の症状と対応」ワークシートにてふり返り覚える。	180	主体性 課題発見力
15週 /	地域における保健活動と子ども虐待防止 ・子どもの健康に関する国の施策と地域における母子保健活動を理解する。 ・児童虐待の現状を知り、保育所における役割と地域との連携を理解する。	講義 ・10~12週課題の返却、ふり返り ・10週提出課題「母子保健サービス」講義内で説明	・母子保健法に規定されている内容を挙げることができる。 ・地域における保健活動を挙げることができる。	(予習)テキストP15~22を読む。 (復習)地域における母子保健活動についてまとめふり返る。	180	創造力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力